

Informatica Enterprise Data Catalog Advanced Scanners

メリット

- 多様で複雑なエンタープライズシステム（「ブラックボックス」化しているアプリケーションを含む）から詳細なメタデータを自動で抽出
- 包括的で詳細なデータリネージを取得して、すべての企業データのソースと変更の影響を把握
- 社内のすべてのデータ変換へのアクセスと追跡により、データ主導のデジタルトランスフォーメーションイニシアチブをサポート

複雑なエンタープライズシステム向けの高度なメタデータスキャナー

企業のデータ環境は極めて複雑で、データベースやデータウェアハウス、レガシーメインフレームシステム、エンタープライズアプリケーション、SaaSアプリケーション、Hadoopクラスター、Sparkクラスター、ハイブリッド/マルチクラウド環境のデータレイクなど、数百ものデータソースにペタバイト（PB）規模のデータが保存されています。ほとんどの企業では、これらのデータは連携のなりサイロ化された環境に閉じ込められており、アクセスすることも、理解することも困難になっています。

すべてのデータソースをスキャンして、複数のデータソースおよびスクリプト言語にわたってデータの依存関係を抽出、把握、追跡できないことは、今日の企業がデジタルトランスフォーメーションを推進する際に直面する大きな障壁となっています。さらに、法規制へのコンプライアンスや企業データのガバナンス、その他の各種デジタルトランスフォーメーションイニシアチブ（クラウド移行によるデータウェアハウス/データレイクの最新化など）を実現するためには、包括的な監査証跡を通じて、あらゆるタイプのリスクを軽減しなければなりません。そのためには、すべてのパイプラインにわたって、ソースからターゲットまでライフサイクル全体を通してデータとデータ変換を詳細に追跡できる能力が必要です。

Informatica® CLAIRE® AIエンジン搭載のInformatica Enterprise Data Catalogでは、メタデータ主導のインテリジェンスと包括的かつ高度なスキャナーを活用して、ハイブリッド/マルチクラウドの幅広いデータソースから詳細なメタデータとリネージを抽出できます。エンドツーエンドのデータリネージ機能と影響分析機能により、ソースからターゲットにわたってデータの依存関係を簡単迅速に分析して、変更の影響を把握し、データに関する問題の根本原因を分析できます。

主な機能

詳細なメタデータ抽出とエンドツーエンドのデータリネージでデータを迅速にカタログ化

Informatica Enterprise Data Catalog Advanced Scannersでは、非常に複雑なシステム（ハイブリッド環境やマルチクラウド環境のレガシーシステム、メインフレームシステム、SQLダイアレクト、各種エンタープライズアプリケーションなど）をはじめとする、さまざまなデータソースからメタデータと詳細なデータリネージを抽出できます。例えば、動的なSQL生成、パラメーター化プロシージャ、ETLコード制御データ変換、ファイルコピースクリプトなどでは、通常はリネージ（またはデータ主導のデジタルトランスフォーメーションイニシアチブをサポートできるだけの詳細なリネージ）を抽出できません。Enterprise Data Catalog Advanced Scannersがあれば、これらの複雑なシステムから詳細なデータリネージを抽出して、最も厳格なデータリネージ要件にも対応できます。

Enterprise Data Catalog Advanced Scannersでは、すべてのスクリプト、プロシージャ、プロセスを確認して、そのロジックと内部データフローを完全に理解できます。また、すべての潜在的なリネージソースと豊富な詳細情報を含む、列レベルの完全なデータリネージも取得できます。これにより、社内で実行されたすべてのデータ変換を把握できます。また、静的コードと動的コードをスキャンすることや、言語解析を実行して自動データリネージを取得することも可能です。このように詳細なメタデータインサイトにより、透明性、制御性、監査可能性を全面的に確保しながら、データ主導のデジタルトランスフォーメーションイニシアチブ（企業データのガバナンス、高度なアナリティクス、法規制へのコンプライアンス、クラウド移行によるデータウェアハウス/データレイクの最新化など）を確実に促進できます。

データベースとスクリプティング言語

Enterprise Data Catalog Advanced Scannersでは、Oracle、SQL Server、IBM Netezza、MySQL、Teradataなどのストアードプロシージャを含む、幅広いSQLダイアレクトからデータリネージを詳細レベルで大規模に抽出できます。データリネージを抽出することで、パラメーターの追跡、パラメーターベースの値を使用した動的SQLの生成、データベースのクエリなど、各種プロシージャの呼び出しを完全に可視化できます。ビュー、プロシージャ、関数、トリガー、マクロ、外部テーブルなどのオブジェクトをサポートしています。分析は、ライブデータベースでオンラインで実行することも、メタデータのみを抽出してオフラインで実行することもできます。

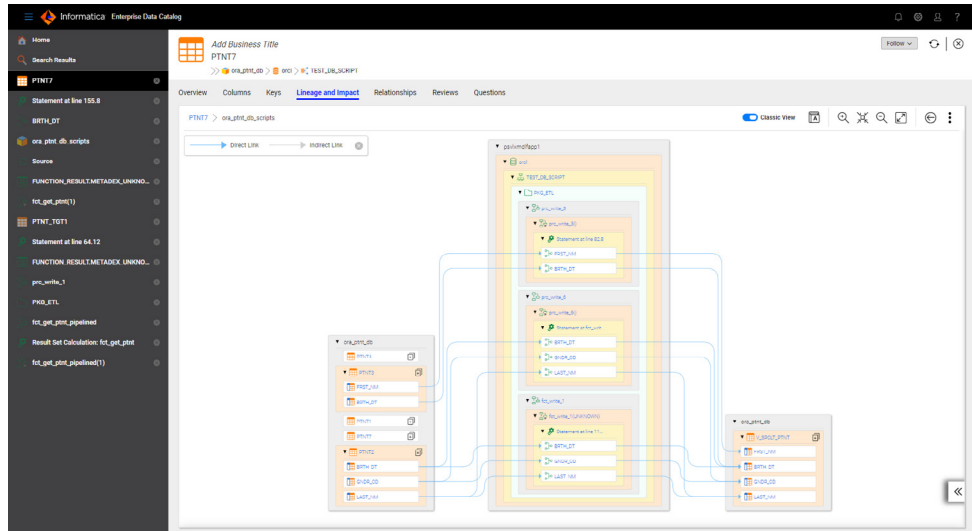


図1：詳細なメタデータ抽出とエンドツーエンドのデータリネージ

ETLツール

Enterprise Data Catalog Advanced Scannersでは、インフォマティカのデータ統合製品だけでなく、さまざまなベンダーのETLツールからメタデータとリネージ情報を抽出できます。エンドツーエンドの詳細なデータリネージ（列レベルのリネージやトランスフォーメーションロジックなど）を取得して、ETLツールを通じて接続したシステムで表示できます。例えばIBM InfoSphere DataStage用のスキャナーでは、詳細なデータリネージを取得できるだけでなく、RCP（ランタイム列伝搬）、ローカルコンテナと共有コンテナ、サーバージョブと並列ジョブ、あらゆるタイプと形式の埋め込みSQLなど、さまざまなタスクをサポートしています。また、ETLジョブのすべてのコンポーネントを簡単に視覚化し、ソース/ターゲット間でデータに適用されたすべての式へすばやくアクセスできます。

レガシーシステムとメインフレームシステム

COBOLベースのレガシーシステムやメインフレームシステムなど、スクリプトやコードで開発したカスタムアプリケーションの多くは一般的に「ブラックボックス」となっていて、データにどのようなトランスフォーメーションが適用されたのかは、スキルを持つ開発者以外は理解することができません。Enterprise Data Catalog Advanced Scannersではレガシーシステムとメインフレームシステムのデータリネージをエンドツーエンドで取得できるので、事実上このようなブラックボックスを解消できます。また、トランスフォーメーションロジックを抽出して、リネージに関する詳細なインサイトを獲得できます。さらに、エンドツーエンドのデータフロー分析のための標準的なメインフレームユーティリティもサポートしています。これによってより多くのユーザーにアプリケーションを開放して、管理性、透明性、ガバナンスの有効性を強化できます。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要な汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

複雑なエンタープライズアプリケーション

SAP BWやSAP BW/4HANAなどの複雑なエンタープライズアプリケーションでは、内部ストレージやプロセス、関係に関する詳細情報を簡単に共有することができません。Enterprise Data Catalog Advanced Scannersでメタデータやリネージ、関係を抽出することで、すべてのユーザー（データエンジニア、データアナリスト、データスチュワードなど）が簡単にデータへアクセスして、その詳細を理解できます。SAPやサードパーティのエンタープライズアプリケーション、データベース、ビジネスインテリジェンスツール（オンプレミスおよびクラウドの両方）にまたがる非常に複雑なデータリネージでもエンドツーエンドで追跡できます。また、SAPテクノロジーや接続システムでデータがどのように変更されたのかを包括的に可視化できます。

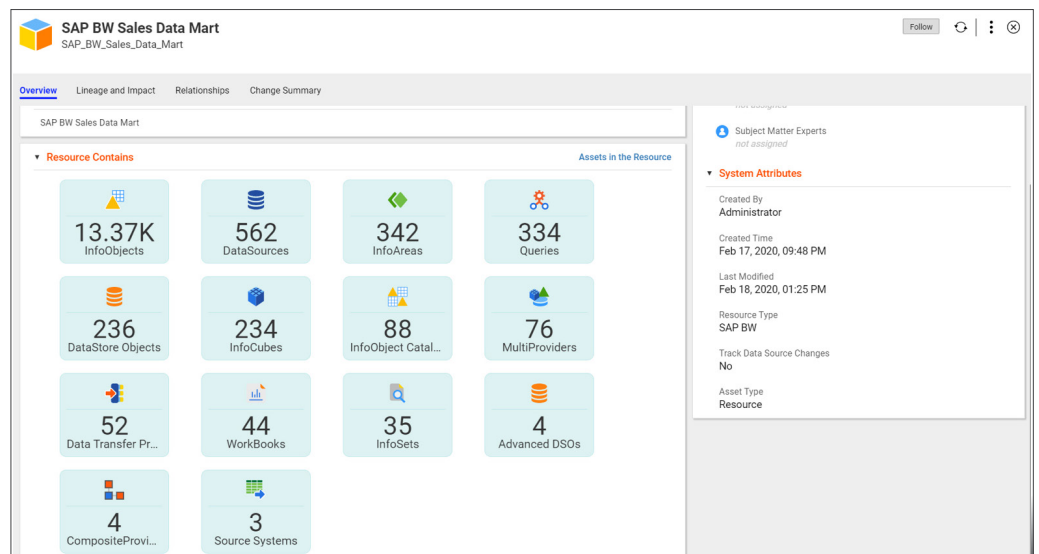


図2：SAPオブジェクトと関係の完全な取り込み

今後のステップ

詳しくは、[Informatica Enterprise Data Catalog Advanced Scanners](#)のWebページをご覧ください。



〒105-6226

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600（代表）FAX：03-3433-1021

IN06_0220_03844

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica, Informaticaロゴ, CLAIRE, Axon, PowerCenter, Big Data Management, Informatica Cloudは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。